

キンセイラン

Calanthe nipponica Makino

ラン科

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

きわめて稀産の植物で、ほとんど見ることが出来ない。県内で現在知られている産地は1箇所のみである。
(現況:RO)

形態

エビネなどと同様に花は中型で、唇弁は三裂、縁は細裂しない。距は5mm程度で、萼片より短く、側花弁は線状披針形。花茎は長く30~50cmに達し、まばらに黄緑色の花を5~15個着ける。苞は披針形で1~2cm、萼片は広披針形で1.5~2cm。

国内分布

北海道、本州、四国、九州。

県内分布

南加賀区、加賀中央区、中能登区。

生態など

多年生草本。開花期は6~7月。

生育環境

夏緑樹林の林床。

危険要因

産地局限。



林 二良・2007年6月28日・白山麓

分布図はありません。